

令和3年度 鹿屋市授業力向上計画

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

※参照：「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善（授業スタンダード）

【導入】・前時までの振り返り・復習
・必然性のある学習課題の設定・板書
・学習の方法や手順等の整理・明確な見通し

【展開】・自力で思考する時間の適切な設定
・学級全体を見渡した学習状況に応じた支援
・子供同士の対話を生み出す発問や働きかけ

【終末】・学習課題との整合性に留意した「まとめ」
・本時の学習内容に沿った練習問題・発展問題
・「振り返り」を書く場の設定・相互交流

読解力を育む授業

※参照：鹿屋市の子どもたちの「読解力の向上」プラン

文章等を「声に出して読む」時間の確保

文章等を「書く活動」の位置付け

ICTを活用した授業

※参照：GIGAスクール構想におけるICTを活用した授業と教師に必要な力量

タブレット・電子黒板等の基本操作（良問活用を含む）

ロイロノート等の学習支援ソフトの操作、活用

構成的グループエンカウンター

※参照：鹿屋市の構成的グループエンカウンター

1単位時間(45～50分)を
年間6回以上

小中一貫教育

※参照：鹿屋市が進める小中一貫教育

PTA・家庭で取り組む読書

※「親と子の20分間読書」

学習指導における基本的資質

※参照：鹿屋市教職員が身に付けるべき「一般的授業力」

学習規律の徹底

評価規準を用いた指導

デジタルとアナログのバランスのよい授業設計

学習指導要領の内容に基づく授業設計

内容系統を明確にした授業設計

ユニバーサルデザインを意識した授業設計

学習指導における基礎的素養

※参照：鹿屋市教職員が身に付けるべき「一般的授業力」

学級の児童生徒全員を注目させてきちんと指示ができる。

児童生徒と心を通い合わせながら学習を展開することができる。

一人一人を大切にしたい個に応じた指導をすることができる。

自他を認め合う温かい学級づくりを行うことができる。